



## 2023年5月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年3月17日

上場会社名 コーセル株式会社  
コード番号 6905 URL <https://www.cosel.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 斉藤 盛雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 高島 大介

TEL 076-432-8149

四半期報告書提出予定日 2023年4月4日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年5月期第3四半期の連結業績(2022年5月21日～2023年2月20日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期第3四半期	25,273	23.2	3,407	61.2	3,594	70.4	2,532	84.8
2022年5月期第3四半期	20,511	3.0	2,113	12.1	2,109	22.5	1,370	24.9

(注) 包括利益 2023年5月期第3四半期 2,459百万円 (33.3%) 2022年5月期第3四半期 1,844百万円 (21.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年5月期第3四半期	74.52	
2022年5月期第3四半期	40.10	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年5月期第3四半期	47,097	41,781	88.5	1,246.46
2022年5月期	45,722	40,939	89.4	1,198.96

(参考) 自己資本 2023年5月期第3四半期 41,689百万円 2022年5月期 40,868百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年5月期		13.00		13.00	26.00
2023年5月期		15.00			
2023年5月期(予想)				16.00	31.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年5月期の連結業績予想(2022年5月21日～2023年5月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,730	20.1	4,030	43.4	4,340	45.5	3,070	62.0	90.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年5月期3Q	35,712,000 株	2022年5月期	35,712,000 株
期末自己株式数	2023年5月期3Q	2,265,766 株	2022年5月期	1,625,429 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年5月期3Q	33,983,625 株	2022年5月期3Q	34,170,096 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、ロシアのウクライナ侵攻の長期化に伴う資源・エネルギー価格の高騰に加え、世界的なインフレの進行抑制に対する欧米諸国での政策金利の引き上げに伴う大幅な為替変動など、世界経済の先行きの不透明感が増し、景気後退の懸念が深まっています。

エレクトロニクス業界におきましては、スマートフォンやPCの市場低迷があるものの、社会のデジタル化の進展や脱炭素化への取り組みを背景に、半導体需要が高まっています。一部の半導体等部品の入手難が継続しておりますが、全体的には部品の調達状況は改善してきており、顧客の生産は増産基調にあります。

このような情勢の中で当社グループは、新型コロナウイルス感染症の影響によるお客様への訪問営業の制限が徐々に緩和されつつある中、前期から引き続き、電話・メール・ウェブを中心とした拡販活動に注力してまいりました。

新製品につきましては、ピーク電力に対応した自然空冷大容量タイプのAC-DC電源AEAシリーズ拡充モデル「AEA800F」を市場投入いたしました。また、海外市場向けには、医用電気機器規格対応ユニット型AC-DC電源PJMAシリーズ拡充モデル「PJMA1500F」及びDINレール専用AC-DC電源「WDAシリーズ」を市場投入しております。

また、生産面においては、前期から継続して新型コロナウイルスの感染予防に努めるとともに、需要急増に対応すべく部品材料の安定調達に注力しております。一部の部品材料において入手難が継続しておりますが、調達状況は改善してきており、当社グループの生産活動については増産対応を図っております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高は284億73百万円（前年同期比33.6%減）、売上高は252億73百万円（同23.2%増）となりました。利益面におきましては、部品材料の値上げによる材料費比率の上昇、人件費及び経費の増加があったものの、売上高の増加による収益増加に加え、為替による影響等により、経常利益は35億94百万円（同70.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は25億32百万円（同84.8%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①日本生産販売事業

日本国内では、半導体製造装置関連を中心に調整局面にあるものの、当社製品のリードタイム長期化に伴い、依然として先々を見込んだ手配需要が継続しております。顧客の生産活動は堅調であり、当社においては生産能力の増強を図ってまいりました。

営業活動につきましては、当社が重視する訪問面談が新型コロナウイルス感染症拡大による制限から徐々に緩和されつつある中、販売店との情報共有強化を図り、お客様とのウェブ面談やメールを中心とした活動に取り組んでまいりました。

この結果、外部顧客への売上高は、156億6百万円（前年同期比17.5%増）、セグメント利益は27億33百万円（同34.2%増）となりました。

#### ②北米販売事業

米国では、部品材料の入手難に対する懸念から、先行手配に伴う需要が一部で見られたものの、需要は徐々に落ち着きを取り戻しつつあり、調整局面に入っております。当社グループでは、一部部品材料の入手難の影響があったものの、北米販売事業の売上については堅調に推移しました。

営業活動につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による制限が緩和される中、ウェブやメールを中心にファクトリーレップとの連携を図りつつ、拡販活動に注力してまいりました。新製品につきましては、動画を用いてプロモーション強化に取り組んでまいりました。

この結果、外部顧客への売上高は、18億47百万円（前年同期比31.0%増）、セグメント利益は1億29百万円（同37.5%増）となりました。

#### ③ヨーロッパ生産販売事業

ヨーロッパでは、新型コロナウイルス感染症再拡大の影響から回復し、需要は堅調に推移しました。当社グループでは、一部部品材料の入手難の影響があったものの、ヨーロッパ生産販売事業の売上については好調に推移しました。

営業活動につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による行動制限が徐々に緩和されつつありますが、前期から引き続き、テレワーク中心の拡販活動に注力してまいりました。

この結果、外部顧客への売上高は、54億43百万円（前年同期比39.6%増）、セグメント利益は1億98百万円（前年同期はセグメント損失2億37百万円）となりました。

## ④アジア販売事業

アジアでは、前期までの先行手配需要の反動により、今期は調整局面となり、需要が大幅に減少しました。当社グループでは、一部部品材料の入手難の影響があったものの、アジア販売事業の売上については堅調に推移しました。

営業活動につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、電話・メール・ウェブを使った拡販活動が中心になっており、前期から引き続き、新規開拓のためのウェブマーケティングに注力しております。

この結果、外部顧客への売上高は、23億75百万円（前年同期比24.2%増）、セグメント利益は1億31百万円（同43.8%増）となりました。

## ⑤中国生産事業

中国生産事業では、中国政府のゼロコロナ政策に伴う規制による生産活動の制限や、部品材料の入手難及び価格高騰等の影響があったものの、ゼロコロナ政策の転換により規制が緩和されたことで、現在においては生産活動は正常化しております。

そのような状況の中、引き続き生産能力の向上に努めるとともに、海外市場向け新製品の「UMAシリーズ」及び日本生産品の並行生産に向けた体制の整備を進めてまいりました。

この結果、セグメント間の内部売上高は、18億77百万円（前年同期比39.6%増）、セグメント利益は2億93百万円（同256.2%増）となりました。

なお、参考までに記載すると製品別の業績は、次のとおりであります。

## 1) 受注高及び受注残高

	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年5月21日 至 2023年2月20日)		当第3四半期連結会計期間末 (2023年2月20日)	
	受注高 (百万円)	対前年同期増減率	受注残高 (百万円)	対前年同期増減率
コーセル製品 ユニット電源	14,571	△40.8%	22,481	32.4%
オンボード電源	7,902	△37.7%	12,990	30.7%
ノイズフィルタ	1,330	△29.8%	1,380	24.6%
P R B X製品 (※)	4,668	26.1%	5,418	40.1%
合計	28,473	△33.6%	42,270	32.5%

## 2) 売上高

	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年5月21日 至 2023年2月20日)	
	売上高 (百万円)	対前年同期増減率
コーセル製品 ユニット電源	13,222	16.7%
オンボード電源	6,407	25.9%
ノイズフィルタ	1,184	13.7%
P R B X製品 (※)	4,459	45.9%
合計	25,273	23.2%

(※) P R B X製品 : Powerbox International ABが開発、製造、販売する製品群

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は347億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億59百万円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金が18億11百万円、棚卸資産が19億50百万円増加した一方で、現金及び預金が4億90百万円、有価証券が18億円減少したことによるものであります。

固定資産は123億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ84百万円減少いたしました。これは主に、投資その他の資産が2億56百万円増加した一方で、有形固定資産が1億66百万円、無形固定資産が1億74百万円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は470億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億74百万円増加いたしました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は43億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億41百万円増加いたしました。これは主に、買掛金が4億98百万円、未払金が1億48百万円、未払法人税等が1億70百万円増加した一方で、賞与引当金が2億12百万円、製品保証引当金が32百万円減少したことによるものであります。

固定負債は9億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ8百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は53億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億32百万円増加いたしました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は417億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億42百万円増加いたしました。これは、株主資本が9億22百万円増加した一方で、その他の包括利益累計額が1億1百万円減少したこと等によるものであります。株主資本の増加は、親会社株主に帰属する四半期純利益25億32百万円を計上した一方で、剰余金の配当9億54百万円、自己株式の取得6億55百万円があったこと等によるものであります。その他の包括利益累計額の減少は、その他有価証券評価差額金が1億45百万円増加した一方で、為替換算調整勘定が2億50百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は88.5%（前連結会計年度末は89.4%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2022年12月19日の「2023年5月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年2月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,580,933	13,090,872
受取手形及び売掛金	9,172,308	10,983,554
有価証券	1,800,000	—
商品及び製品	1,576,356	1,804,550
仕掛品	595,498	796,745
原材料及び貯蔵品	6,181,421	7,702,975
その他	430,096	417,982
貸倒引当金	△5,648	△6,084
流動資産合計	33,330,966	34,790,595
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,106,066	7,230,542
減価償却累計額	△3,410,830	△3,562,220
建物及び構築物(純額)	3,695,235	3,668,322
機械装置及び運搬具	7,752,963	7,859,709
減価償却累計額	△6,330,731	△6,564,702
機械装置及び運搬具(純額)	1,422,231	1,295,006
工具、器具及び備品	6,120,559	6,254,483
減価償却累計額	△5,581,531	△5,675,183
工具、器具及び備品(純額)	539,027	579,299
土地	1,184,262	1,184,262
リース資産	508,842	516,161
減価償却累計額	△149,556	△207,200
リース資産(純額)	359,286	308,960
建設仮勘定	17,039	14,464
有形固定資産合計	7,217,082	7,050,315
無形固定資産		
ソフトウェア	24,405	16,968
技術資産	468,421	394,766
顧客関連資産	827,374	744,841
のれん	95,903	82,112
その他	17,605	20,443
無形固定資産合計	1,433,711	1,259,132
投資その他の資産		
投資有価証券	3,265,317	3,550,737
退職給付に係る資産	165,705	168,028
繰延税金資産	149,685	36,626
その他	159,980	241,817
投資その他の資産合計	3,740,689	3,997,209
固定資産合計	12,391,483	12,306,657
資産合計	45,722,449	47,097,252

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年2月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,737,549	2,236,271
短期借入金	64,951	39,313
未払金	408,324	556,622
リース債務	86,723	95,547
未払法人税等	283,710	454,145
賞与引当金	418,678	206,597
製品保証引当金	163,000	131,000
その他	694,741	679,526
流動負債合計	3,857,680	4,399,023
固定負債		
繰延税金負債	273,821	239,788
退職給付に係る負債	230,994	233,274
リース債務	281,098	229,564
その他	139,091	213,627
固定負債合計	925,005	916,254
負債合計	4,782,686	5,315,278
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,055,000	2,055,000
資本剰余金	2,279,881	2,279,881
利益剰余金	37,078,093	38,656,286
自己株式	△1,847,497	△2,503,138
株主資本合計	39,565,477	40,488,029
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	344,300	489,362
為替換算調整勘定	963,687	713,425
退職給付に係る調整累計額	△5,092	△1,273
その他の包括利益累計額合計	1,302,895	1,201,515
非支配株主持分	71,390	92,428
純資産合計	40,939,762	41,781,974
負債純資産合計	45,722,449	47,097,252

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年5月21日 至 2022年2月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年5月21日 至 2023年2月20日)
売上高	20,511,518	25,273,703
売上原価	14,722,064	17,792,793
売上総利益	5,789,454	7,480,910
販売費及び一般管理費	3,675,529	4,073,442
営業利益	2,113,924	3,407,468
営業外収益		
受取利息	13,876	20,356
受取配当金	33,440	34,808
為替差益	—	115,166
受取補償金	37,576	10,603
その他	15,941	12,124
営業外収益合計	100,834	193,059
営業外費用		
支払利息	3,518	5,527
為替差損	101,373	—
自己株式取得費用	250	65
その他	170	3
営業外費用合計	105,312	5,596
経常利益	2,109,446	3,594,931
特別利益		
固定資産売却益	473	150
補助金収入	50,000	—
特別利益合計	50,473	150
特別損失		
固定資産売却損	—	1,087
固定資産除却損	266	4,979
特別損失合計	266	6,066
税金等調整前四半期純利益	2,159,654	3,589,015
法人税、住民税及び事業税	557,494	968,310
法人税等調整額	221,103	58,025
法人税等合計	778,597	1,026,336
四半期純利益	1,381,057	2,562,678
非支配株主に帰属する四半期純利益	10,807	30,062
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,370,249	2,532,616

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年5月21日 至 2022年2月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年5月21日 至 2023年2月20日)
四半期純利益	1,381,057	2,562,678
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	122,374	145,062
為替換算調整勘定	344,506	△251,835
退職給付に係る調整額	△3,321	3,819
その他の包括利益合計	463,560	△102,954
四半期包括利益	1,844,617	2,459,724
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,829,803	2,431,237
非支配株主に係る四半期包括利益	14,813	28,487

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年12月19日開催の取締役会決議に基づき、自己株式640,300株を取得しました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が655,610千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が2,503,138千円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間（自 2021年5月21日 至 2022年2月20日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本生産 販売事業	北米販売 事業	ヨーロッパ 生産販売事業	アジア販売 事業	中国生産 事業	合計		
売上高								
外部顧客への 売上高	13,287,791	1,410,509	3,900,270	1,912,945	—	20,511,518	—	20,511,518
セグメント間の 内部売上高	2,745,340	—	1,004	—	1,345,415	4,091,761	△4,091,761	—
計	16,033,132	1,410,509	3,901,275	1,912,945	1,345,415	24,603,279	△4,091,761	20,511,518
セグメント利益 又は損失 (△)	2,037,566	94,170	△237,131	91,770	82,440	2,068,816	45,107	2,113,924

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額45,107千円は、セグメント間の取引消去61,245千円、固定資産及び棚卸資産の未実現損益の消去△16,137千円であります。

2. 各報告セグメントのセグメント利益又は損失 (△) の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間（自 2022年5月21日 至 2023年2月20日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本生産 販売事業	北米販売 事業	ヨーロッパ 生産販売事業	アジア販売 事業	中国生産 事業	合計		
売上高								
外部顧客への 売上高	15,606,717	1,847,987	5,443,366	2,375,632	—	25,273,703	—	25,273,703
セグメント間の 内部売上高	3,629,054	—	25,969	—	1,877,992	5,533,017	△5,533,017	—
計	19,235,771	1,847,987	5,469,335	2,375,632	1,877,992	30,806,721	△5,533,017	25,273,703
セグメント利益	2,733,986	129,485	198,296	131,953	293,644	3,487,367	△79,899	3,407,468

(注) 1. セグメント利益の調整額△79,899千円は、セグメント間の取引消去95,155千円、固定資産及び棚卸資産の未実現損益の消去△175,054千円であります。

2. 各報告セグメントのセグメント利益の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。